- Fig. 2.16　その他のソフトウェアのインストール

- Table 2.3　その他のソフトウェア

パッケージ名	解説
秀丸エディタ + TeXmac	シェアウェアである秀丸エディタと *TEXMAC* とをインストールする。すでに秀丸エディタを用いている人も、このオプションでインストールすると便利である (*TEXMAC* のみインストールすると、*TEXMAC* を秀丸エディタに手作業で登録しなければならない)
TeXmac version 2.1.6	秀丸エディタのマクロファイルが収められているフォルダに、*TEXMAC* のみをインストールする。この場合、マクロファイルがコピーされるだけなので、秀丸エディタへの登録などはすべて手作業で実行する必要がある
EZ TeX	TEX 命令の入力支援ソフトである EZTEX をインストールする。もし秀丸エディタをインストールする場合には、*TEXMAC* があるので、このソフトをインストールする必要はない (ただし、秀丸エディタでも EZTEX を利用することは可能なので、興味があればインストールしてもかまわない)。このコンポーネントをインストールすると、[スタート] メニューの [プログラム]－[スタートアップ] に EZTEX が追加され、WINDOWS の起動時に EZTEX が自動実行されるようになる
Susie Plug-in	画像表示ソフト Susie のアドオンコンポーネントで、プラグインと呼ばれる。Susie Plug-in をインストールすると、DVIOUT で JPEG 画像などを TEX 原稿に貼り込むことができるようになる。本書では、これをインストールするものと想定している
WinTpic	Tpic 形式の画像ファイルを作成するアプリケーションソフト。簡単な図版を作成できるようになり、作成した図版は TEX の原稿中で手軽に利用することができる。できるだけインストールしたい
BaKoMa CM TrueType フォント	BaKoMa 氏によって作成された TrueType 形式のフォント。インストールすると、印刷速度が向上することがある。ただし、インプレス社の TrueType フォントと共存させることはできない

● 秀丸エディタ + TeXmac ●

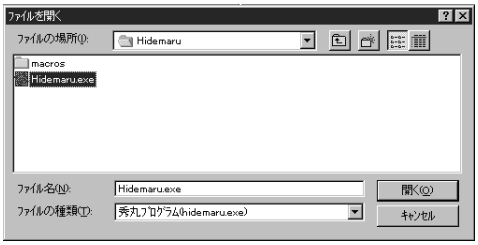
[秀丸エディタ + TeXmac] をチェックすると、秀丸エディタと *TEXMAC* をインストールすることができます。もし秀丸エディタがすでにインストールされていて、本書の CD–ROM に収録

されている秀丸エディタのバージョンがそれより古い場合であっても、このオプションを選択してください (古いバージョンで上書きされてしまうことはありませんので、安心してください)。

このコンポーネントを選択すると、右下のエディットボックスが有効になります。そこに、インストール先となるフォルダ名を入力してください。

もし、コンピュータにすでに秀丸エディタがインストールされている場合には、[参照] ボタンを押し、秀丸エディタの所在をインストーラに指示することも可能です。[参照] ボタンを押すと、Fig. 2.17 のダイアログボックスが開きますので、利用する秀丸エディタの実行ファイル (Hidemaru.exe) を探して選択してください。

- Fig. 2.17　秀丸エディタの所在を指示する



• TeXmac Version 2.16 •

[TeXmac] をチェックした場合は、T_EXMAC だけをインストールすることができます。利用中のシステムにすでに秀丸エディタがインストールされている場合には、このコンポーネントを選択してもかまいませんが、その場合には T_EXMAC を秀丸エディタに簡単に組み込むためのファイルはハードディスクにコピーされません。このオプションは、秀丸エディタのマクロ登録機能などに深い知識を有するユーザ向けのものです。

このコンポーネントが選択されていると、インストーラは秀丸エディタのマクロフォルダを検索し、マクロフォルダが設定されていればそのフォルダに T_EXMAC をインストールします。もし、マクロフォルダが設定されていなければ、デフォルトのフォルダ (C:¥Program Files¥Hidemaru など) が表示されますので、適切なフォルダ名に変更してください。インストーラは、入力されたフォルダ名の正当性をチェックしませんので、入力ミスには十分注意してください。

なお、[Susie Plug-in] は本書を通じてインストールされているものとして解説しますので、特に理由がない限りこのオプションは有効にしておいてください。

選択が終わったら [次へ >] ボタンを押して次のステップに進みます。

2.4.4　インストールの最終確認

最後に、インストール先となるフォルダを設定します (次ページの Fig. 2.18)。

まず、表示されているメッセージをよく確認してください。そのあとで、インストール先のフォルダを指定します。新規インストールではなく追加インストールする場合には、以前インストールしたのと同じフォルダ名が表示されているかどうかを慎重にチェックしてください。